

海を守る舞台裏

“漁業取締船”に潜入



違法操業の取締りを行う漁業取締船は、業務を遂行するための工夫が各所に見られます。内部を知ると、果たしている役割の重要さがよくわかります。



いざ! 憧れの“漁業取締船”へ

漁業取締船には、どんな部屋や設備があるのでしょうか。晴海埠頭に停泊中の水産庁漁業取締船「鳳翔丸」を、公務員YouTuberの松沢さんが案内します。



農林水産省職員 松沢さん

農林水産省の公式YouTubeチャンネル「BUZZMAFF（ばずまふ）」で「水産庁ぎょぎょチャンネル」を運営する魚好きの農林水産省職員。チャンネルを通して水産業を盛り上げている。



取締装具室



取締りを行う漁業監督官が、洋上でほかの船に立入検査を行う際などに着用する装具を格納する部屋です。ヘルメットや防弾防刃救命胴衣、特殊警棒などが置いてあります。



サロン

情報交換のために訪れる海外の要人などとの会議にも使用する部屋で、内装もとてもエレガントな雰囲気です。飲み物などをすぐに用意できるよう、隣にパントリーがあります。





浴室



浴室には湯船があり、シャワーも自由に使えます。
乗組員は交代しながら24時間体制で業務に従事するため、清掃時間以外はいつでも入浴できるようになっています。



診療室



航海中の体調不良やケガなどの応急処置を行う部屋で、必要な医療品が保管されています。奥の病室にはベッドがあり、療養やウイルス感染症が疑われる場合はここに隔離します。



機関制御室



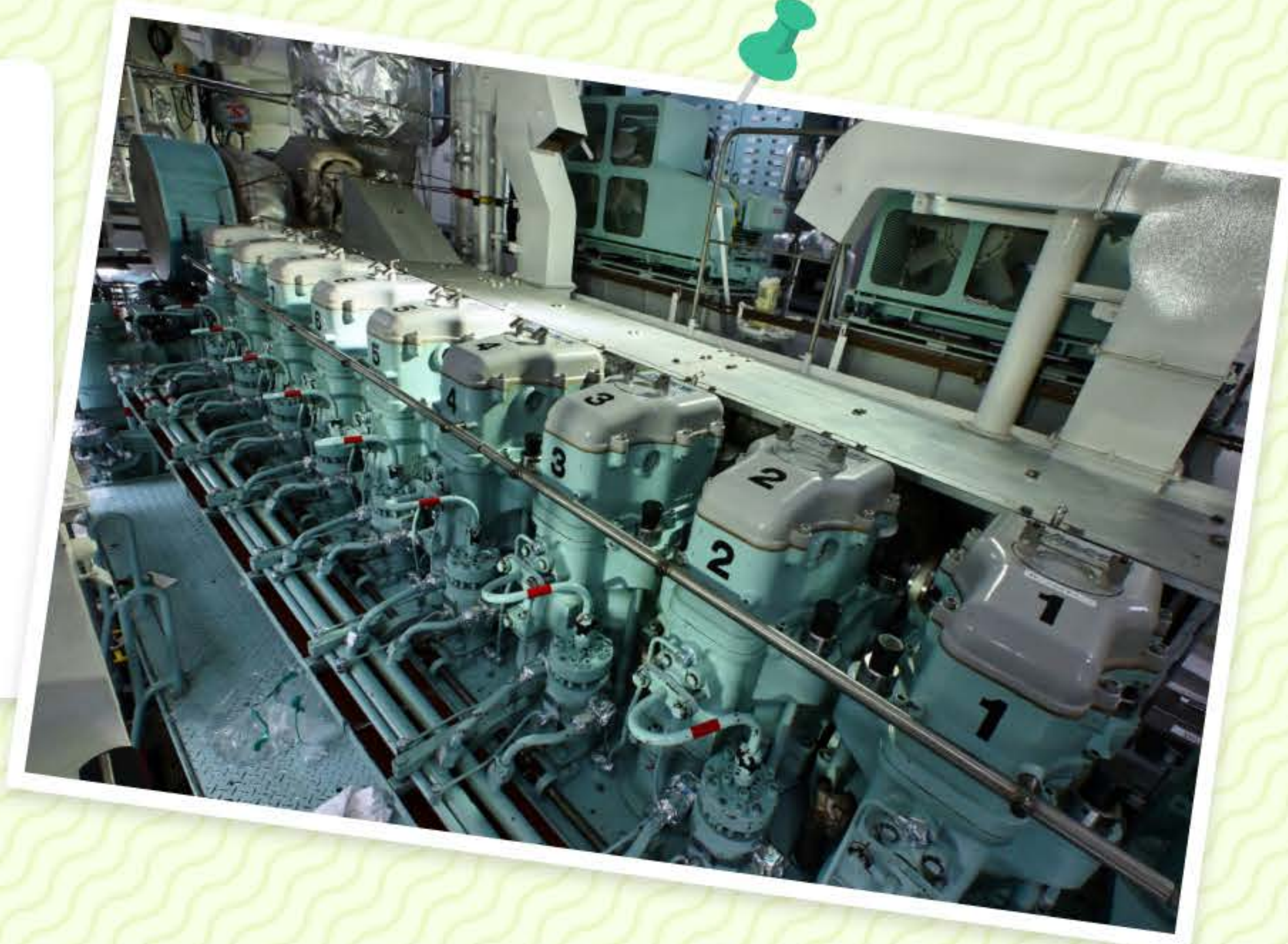
船のエンジンの始動や停止、出力調整など推進装置の運転管理を行っています。さらに船内の空調システムの制御や燃料の効率的な管理など船の運航を支える場所です。



機関室



船のエンジンや船内に電気を供給する発電機などを備えた、動力を生み出す心臓部です。そのほかに、数十台のポンプや造水装置など船の運航に必要な様々な機器が設置されています。

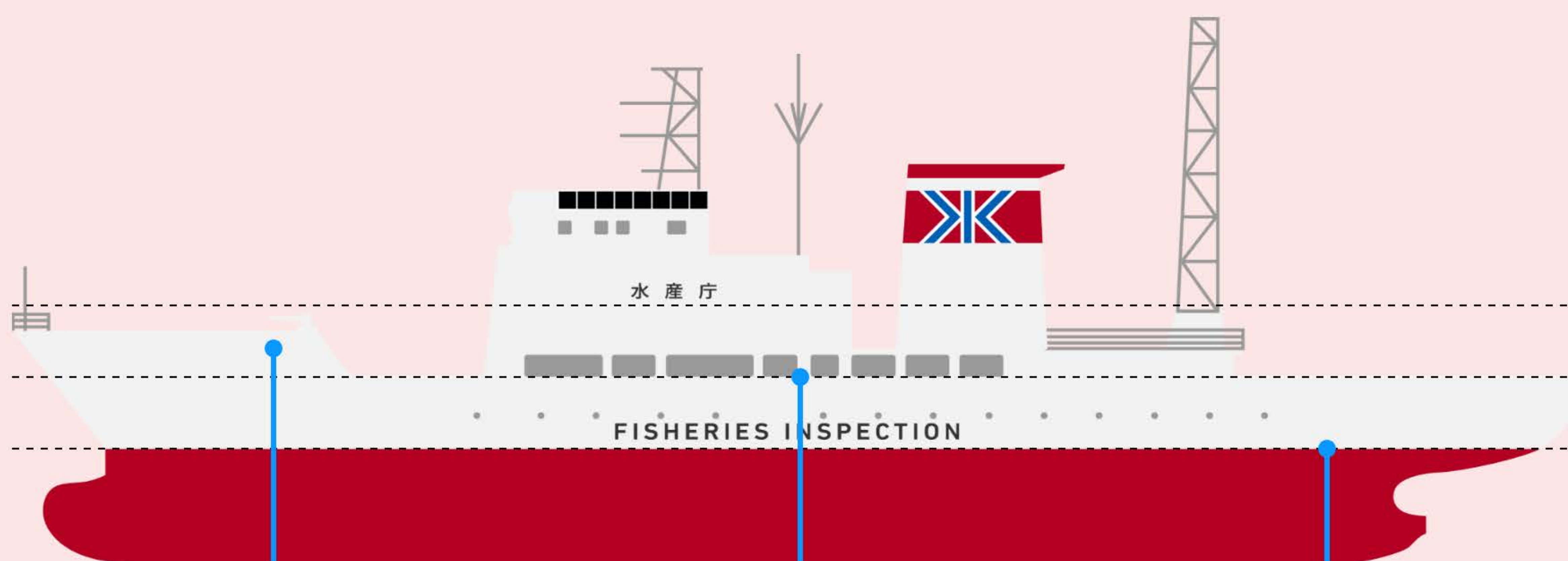


農林水産省公式YouTubeチャンネル
「BUZZMAFF」で、漁業取締船の潜
入動画を配信中！ぜひご覧ください！

<https://www.youtube.com/BUZZMAFF>



漁業取締船の構造



船首楼甲板

船の先端にある船首楼甲板には、放水銃などが取り付けられています。デッキの上階にはブリッジと呼ばれる操舵室があり、船尾には取締艇が配置されています。

船楼甲板

上甲板上部に位置する構造物の甲板で、取締装具室やサロン、サロンパントリー、拿捕した漁船に乗船していた被疑者を取り調べる取調室があります。

上甲板

船体最上層の全通甲板で、診療室や浴室、食堂、さらに乗組員の船室があります。船室は個室になっており、ベッドや机のほかテレビや冷蔵庫が備え付けられています。

取締船ならではの

注目ポイント5選

密漁や違法操業を見逃さず、迅速に取り締まるため、漁業取締船にはほかの船舶にない設備が取り付けられています。代表的な5つを紹介します。

01 電光表示装置

船楼に取り付けられた大型のLEDスクリーンで、違法操業を行う漁船に対し「停船せよ」などの指示や警告など各種メッセージを表示します。日本語や英語、中国語、韓国語など複数言語で表示可能で、夜間や遠距離でも視認できます。



02 取締艇

漁業取締船に搭載されている、小型で機動性が高い高速艇です。違法操業を行う漁船の追跡や立入検査を行う際に、漁業監督官が乗り込みます。取締艇揚降装置を使って海面に揚げ降ろしを行います。

03 放水銃

海水を取り込み、高圧で噴射する装置です。違法操業を行う漁船に対して、退去警告などを行う際などに使用します。





04 長距離音響発生装置

高い指向性を持ち、遠くまで音声を届ける装置で、退去警告などに用いられています。「LRAD（エルラド）」と呼ばれています。

05 洋上監視カメラ

高度な安定機能を持つ旋回台にカラーカメラと赤外線カメラが取り付けられており、荒波や暗闇の中でも漁船等の映像を記録することができます。



漁業監督官の 特殊装備を大解剖

違反漁船への立入検査を行う際、より安全に業務を遂行するため、漁業監督官は特殊装備を着用します。投石などの飛来物から頭部を保護するためのヘルメットは、軽量で通気性に優れています。防弾防刃救命胴衣は、日本警察仕様で高い防衛性能を持つもの。特殊警棒はジェラルミン製で高強度、盾は対弾性能を備えています。





今週のまとめ

漁業取締船には、違法操業を迅速・着実に取り締まるための工夫がたくさんあります。業務に当たる漁業監督官の装備も厳重です。日本の豊かな水産資源は、こうした取り組みによって守られています。